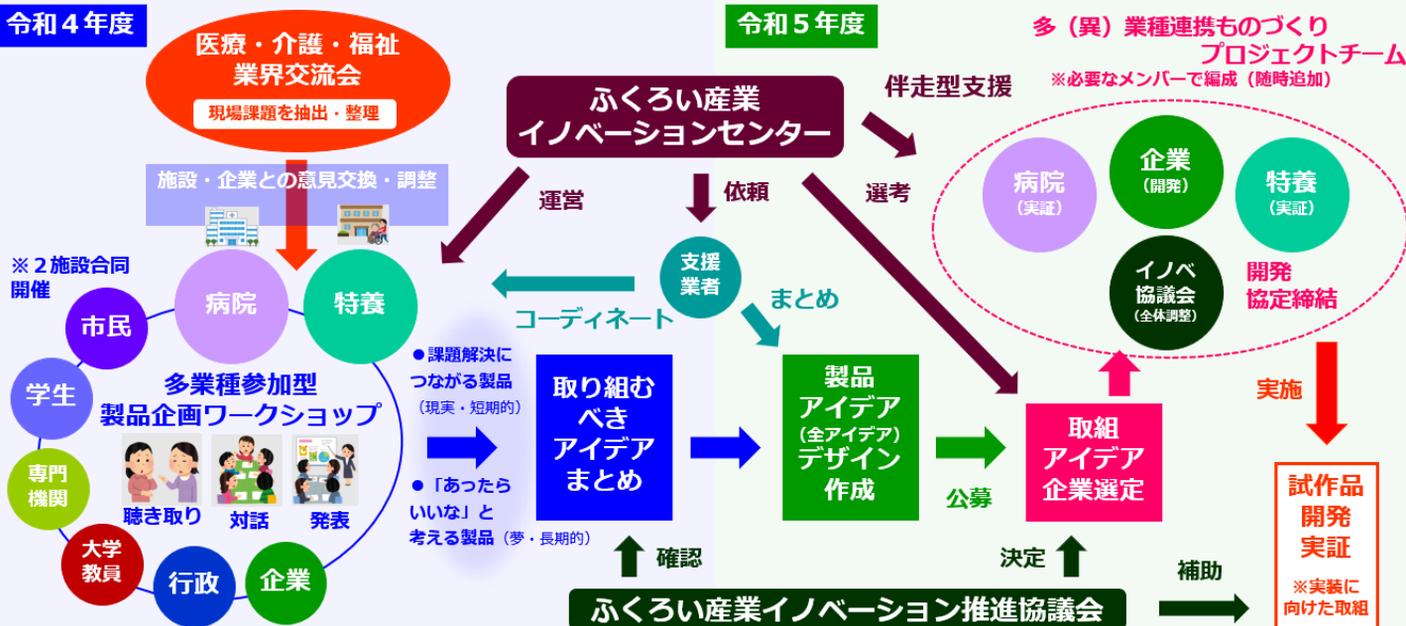


令和4年度

令和5年度



ふくろい産業イノベーションセンター ニュースレター Vol.38

発行日：令和6年6月21日（金）
発行者：ふくろい産業イノベーションセンター事務局

医療介護現場アイデア実現ものづくりPJ ～R5年度取組結果と今後の展開～

医療・介護の現場が抱える困りごと（課題）解決を通じた新たなビジネス機会の創出を目的として、医療・介護現場の課題からアイデアを“カタチ”にする「多業種参加型製品企画ワークショップ」（以下WS）を令和5年3月に開催、公募により試作品開発に取り組むべきアイデア・企業等を「座った人を簡単に乗せられる車椅子」決定し、異業種連携プロジェクトチームによる試作品の製作・実証に取り組んだ。

この度、知的財産の特許出願が完了したため、現在の課題点等を整理・確認するとともに、今後の展開についても検討を行いました。



プロジェクトチームメンバー

- 【設計開発 / PJリーダー】株式会社ジェネシス（袋井市川井1256-1）
- 【実証協力 / 病院】聖隷袋井市民病院（袋井市久能2515-1）
- 【実証協力 / 介護施設】特別養護老人ホームディアコニア（袋井市山崎5902-167）
- 【全体調整支援】ふくろい産業イノベーション推進協議会

課題の深堀とアイデアの具現化

多業種参加型製品企画ワークショップにて、座った人を椅子に乗せるためには、2名以上の介護者が車椅子に座ることのできる高さまで、対象者を持ち上げる必要があり、人手や腰への負担が大きいとの課題が上がったことから、座面が回転することで、車椅子が前方に進みながら対象者をすくい上げ、座面が昇降することにより、それらの課題を解決する「座った人を簡単に乗せられる車椅子」のイメージイラストを作成し、試作品開発を行った。

R5-2 / 座った人を簡単に乗せられる車椅子

高度介護現場アイデア実現
ものづくりプロジェクト

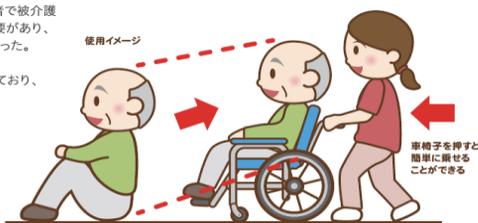
概要説明

- 床に座る被介護者等を簡単に乗せることが可能な車椅子。

【イメージイラスト】

背景・特徴

- 被介護者等を車椅子に乗せるには、2名以上の介護者で被介護者を車椅子に座ることのできる高さまで持ち上げる必要があり、①人手が必要、②腰への負担が大きい、等の課題があった。
- 座っている被介護者を背後から持ち上げる機能を有しており、介護者1名で車椅子に乗せることが可能。



補足 折り畳み式ではなく、スーパーのカートの様に重ねて置ける形状等になるとなお良い。



【座った人を簡単に乗せられる車椅子】

現状・今後の展開

現在は、実証実験の際、現場から発見された課題点や声について、改善のための再構築を行っており、改良を行ったもので、再度実証実験を行うことで、現場での使用頻度等の検証を行う予定。

製品・サービスを現場のニーズに即したのものとしていくには、現場を担う職員の意見をこまめに聴くこと、そしてその意見等を踏まえて、仮説に基づきプロトタイプ（コストをかけずに素早く具体化する試作モデル）を作成し、再度意見聴取を行うなどの検証を繰り返し、機構・機能の組み上げやカスタマイズを進めていくことが重要。

今後も本センターでは、本PJの実施を通じて得たノウハウを生かし、セミナーや交流会等「稼ぐチカラ」を生み出す新たなビジネスモデルの創出に向け、引き続き取組を進めてまいります。



お問い合わせ・相談窓口 ふくろい産業イノベーションセンター (FIIC)

〒437-8555 静岡県袋井市豊沢2200-2 (静岡理工科大学 やらまいか創造工学センター3階)
TEL:0538-45-0136 (直通) / FAX:0538-45-0110 / E-mail:shakai@sist.ac.jp